

2019年4月12日更新

体操競技女子各種選考方法

東京オリンピック女子体操競技強化本部

1. 第49回世界体操選手権日本代表選手選考方法
2. 第30回ユニバーシアード日本代表選手選考方法
3. 2019年度 ナショナル強化選手選考方法
4. 第1回世界ジュニア選手権大会日本代表選手選考方法
5. 2019-2020 ワールドカップ種目別シリーズ派遣基準
6. 2020 ワールドカップ個人総合シリーズ派遣基準

1. 第49回世界体操選手権日本代表選手選考方法

① 代表選手4名を個人総合で選出

下記対象競技会の個人総合得点を合計した上位者

1. 第73回全日本個人総合選手権（予選）＋（決勝）
2. 第58回NHK杯

※国籍及び年齢を満たさない選手を除く

※同点の場合はNHK杯の得点上位者を上位とする

※更に同点の場合はNHK杯の得点をFIG競技規則に準じてタイブレイクする

② 種目別スペシャリストで1名選出

選考条件

1. ①選出の代表選手との組合せで最高チーム得点となり、2種目以上でベスト3に入っていること
2. ①選出基準で12位以内に入っていること（ナショナル強化選手）

※対象選手が複数いる場合はチーム貢献度が高い選手を優先する

※同点の場合は個人総合得点の上位者を上位とする

※対象選手が不在の場合は、①の個人総合での選考基準で選出する

③ 補欠については①の選考基準で上位2名を選出する。

<選考理由>

2019年世界体操選手権大会団体予選で、2020東京五輪大会の団体出場枠を獲得することが最大の目標である。また団体決勝においてメダル獲得を目指す。そして2020東京五輪においても団体でメダル獲得を狙う。そのためにも個人総合上位者でチームを編成していく必要がある。また、怪我等が出た場合のリスク回避にもなるため。

2. 第 30 回ユニバーシアド日本代表選手選考方法

○ 個人総合で代表選手 3 名を選出

下記対象競技会の個人総合得点を合計した上位者

1. 第 73 回全日本個人総合選手権（予選）＋（決勝）

※4～6 番目 3 名を国内補欠として派遣手続き等を行うが現地派遣はしない

※日本選手としてユニバーシアド出場有資格者のみを対象とする

※同点の場合は（決勝）の得点上位者を上位とする

※更に同点の場合は（決勝）の得点を FIG 競技規則に準じてタイブレイクする

<選考理由>

今回のユニバーシアドはネームエントリーが 2019 年 5 月 7 日である。そのため、世界選手権代表選手決定を待ってからの選考が不可能である。よって NHK 杯終了後、怪我や体調面でユニバーシアドを辞退する選手が出る可能性があるため、国内補欠を 3 名とし派遣準備をしておく。

3. 2019 年度ナショナル強化選手選考方法

① 個人総合で 12 名を選出

下記対象競技会の個人総合得点を合計した上位者

1. 第 73 回全日本個総人合選手権（予選）＋（決勝）

2. 第 58 回 NHK 杯

※12 位が同点の場合は NHK 杯の個人総合得点が高い方を上位とする

※更に同点の場合は NHK 杯の得点を FIG 競技規則に準じてタイブレイクする

② 強化本部推薦（若干名）

4. 第1回世界ジュニア選手権大会日本代表選手選考方法

- 個人総合で3名を選出と補欠を1名選出する。

下記対象競技会の個人総合得点を合計した上位者

1. 第73回全日本個人総合選手権（予選）＋（決勝）
2. 第58回NHK杯

※対象年齢（2004年1月1日～2005年12月31日生まれ：14～15歳）

※同点の場合はNHK杯の得点上位者を上位とする

※更に同点の場合はNHK杯の得点をFIG競技規則に準じてタイブレイクする

※エントリー期限がNHK杯前の場合は、全日本個人総合（予選）＋（決勝）の個人総合上位者より選出

※上記選考方法で対象者が不在の場合は、全日本個人総合（予選）の個人総合上位者より選出

5. 2019-2020 ワールドカップ種目別シリーズ派遣基準「2020 東京五輪個人枠取得大会」

- ① 下記対象大会において各種目の最高得点獲得者上位2名を選出する

1. 第73回全日本個人総合選手権（予選）、（決勝）
2. 第58回NHK杯
3. 第73回全日本種目別選手権（予選）、（決勝）

※同点の場合は、獲得した得点を高い順から比較し、高い得点を有する選手を優先する。

- ② 下記派遣基準によって、派遣回数を決定する

2018-2019 ワールドカップ種目別シリーズ4大会の各種目予選通過順位得点の平均点を基準にする

（4大会の中で予選8位以内に日本選手が入った場合は、除外して順位を繰り上げて平均点を算出する）

1. 予選3位通過の得点を超えた場合は、4大会派遣する
2. 予選5位通過の得点を超えた場合は、3大会派遣する
3. 予選8位通過の得点を超えた場合は、2大会派遣する
4. 予選8位通過以下の得点の場合は、派遣しない

※出場希望者は第73回全日本個人総合選手権申込時に、2019世界選手権及び2020東京五輪日本代表選手(団体枠)の代表選考を辞退することを承諾した選手に限る。

年齢制限：2020年1月1日～12月31日に16歳以上になる選手に限る。コトブス大会に関しては、シニア年齢に達していない場合は出場できない。監督会議の際に詳細を説明し、エントリーの有無を再確認する。

※跳馬での出場を希望する選手は、対象大会1. 2. においても申請すれば2本跳ぶこと

ができる。

※派遣枠が多く残った場合には、世界選手権終了後に再度、トライアウトを実施する。
ただし、2020 東京五輪の団体枠を獲得できなかった場合は、全日本個人総合選手権予選・決勝、NHK 杯、全日本種目別選手権予選・決勝と世界選手権後に実施する種目別トライアウトの結果を対象に、上位者から選出し直す（東京五輪個人枠獲得選手は除く）。

6. 2020 ワールドカップ個人総合シリーズ派遣基準「2020 東京五輪個人枠（NF 枠）取得大会」

- ① 第 49 回世界選手権大会個人総合決勝出場者に出場権を複数回与える
- ② 空いた枠がある場合は、世界選手権代表選手の上位から選考する
- ③ 更に空いた枠がある場合は、2019 年度ナショナル強化選手の上位より選考する